

特別企画：2014年度長野県内建設業売上高ランキング〈速報〉

上位 30 社の総売上高は前年度比 3.2%増の 4136 億円 増収企業は 17 社、前年度の 29 社から 4 割以上減少

はじめに

アベノミクスがスタートして以来、景気の牽引役を果たしてきた建設業。それまで、建設業界は市場の縮小が著しく、全産業の中でも特に不況感が強かったが、2013年以降状況は大きく変化した。公共事業の増加、景気回復の広がりに伴う民間需要の拡大、さらに2014年4月の消費増税前の駆け込み需要などを受け市場が活性化。TDB 景気動向調査における景気 DI（建設業界）は、2013年9月に初めて良悪判断の境目である 50 を突破し、その後も堅調に推移してきた。

2014年度に入り、景気 DI は消費税率引き上げ直後にいったん下降したものの、すぐに回復。2014年5月～11月は50以上を維持していた。しかし、12月に50を割り込み、年度末の3月には「44.9」まで後退。このように需要の浮き沈みに直面した建設業者の業績は2014年度、どう推移したのだろうか。

帝国データバンクでは毎年、県内建設業者の売上高ランキング（上位30社）を作成しているが、このほど2014年度のランキング（2014年4月決算～2015年3月決算対象）を集計し、分析した。なお、当ランキングは2015年5月26日現在で判明したデータに基づいて作成しており、連結決算を採用している企業もすべて単体の数字を用いている。また、3月決算で株主総会が終了していない企業の数字は決算案である。

調査結果（要旨）

■上位 30 社の総売上高は 4136 億 8600 万円、3 年連続増加

2014年度県内建設業売上高上位30社の総売上高は4136億8600万円となり、前年度から3.2%増加した。前年度を上回るのは3年連続だが、増加率は過去最高となった前回の14.1%から10.9ポイント減と大幅に縮小している。

■売上高トップは北野建設、上位 6 社の順位は変動せず

ランキングトップは、今回も北野建設（株）（長野市）。2015年3月期の年売上高は、前期比1.3%減の675億7800万円だった。同社がトップとなるのは、調査を開始した2000年度以来15年連続。また、上位6社には順位の変動がなかった。なお、上位30社中28社は前回と同じ顔ぶれである。

■増収企業数が前年度から大幅に減少

上位30社のうち増収が17社、減収は13社。増収企業数は前回29社と過去最高を記録したが、今回は41.4%減と大幅に減少している。10%以上増は9社、30%以上増は2社。伸び率が最も大きかったのは、175.7%増のルートイン開発（株）（上田市）だった。

1. 上位30社の総売上高、3年連続で増加するも伸び率は小幅にとどまる

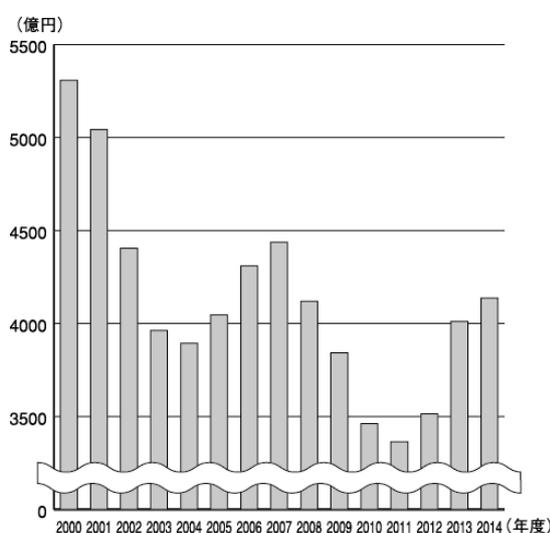
調査を開始した2000年度には5307億8400万円に達していた上位30社の総売上高。その後は公共事業削減の進行などを背景に市場が大幅に冷え込み、2004年度には3894億2400万円に後退した。2005年度～2007年度は増加を続けたが、リーマン・ショックが発生した2008年度以降は再び減少に転じ、2011年度には2000年度以降で最低となる3363億2100万円にとどまっていた。

2012年度に5年ぶりに前年度を上回った(4.5%増)上昇の流れが、2013年度に14.1%増へと拡大したのは、政府による公共事業の増加策、景気回復の広がりに伴う民間設備投資意欲の改善、消費税引き上げ前の駆け込み需要の発生が重なり合い、市場が活性化したため。2013年度、30社の総売上高は5年ぶりに4000億円台を回復し、伸び率は(14.1%増)は調査開始以来最大を記録した。

2014年度は当初より、消費増税前の駆け込み需要の反動が懸念されていたが、需要の低迷が予想以上に長期化。また、秋口以降は景気回復全体にも停滞感が漂い始め、資材や人件費などのコスト高も加わり、建設業者の景況感に伸び悩みが目立つようになった。上位30社の総売上高は4136億8600万円。3年連続で前年度を上回り、2年連続で4000億円台を維持したものの、伸び率は3.2%と小幅にとどまり、前年度とは様相を異にしている。

表・グラフ1) 県内建設業売上高上位30社の総額推移(2000年度～2014年度)

年 度	金 額 (百万円)	伸 び 率
2000年度(平成12年度)	530,784	—
2001年度(平成13年度)	504,327	▲5.0%
2002年度(平成14年度)	440,581	▲12.6%
2003年度(平成15年度)	396,238	▲10.1%
2004年度(平成16年度)	389,424	▲1.7%
2005年度(平成17年度)	404,538	3.9%
2006年度(平成18年度)	430,970	6.5%
2007年度(平成19年度)	443,616	2.9%
2008年度(平成20年度)	411,910	▲7.1%
2009年度(平成21年度)	384,211	▲6.7%
2010年度(平成22年度)	346,222	▲9.9%
2011年度(平成23年度)	336,321	▲2.9%
2012年度(平成24年度)	351,557	4.5%
2013年度(平成25年度)	401,020	14.1%
2014年度(平成26年度)	413,686	3.2%



2. 県内建設業売上高トップは北野建設、上位6社は前回と変わらず

2014年度の県内建設業売上高ランキングでトップとなったのは北野建設(株)(長野市)。2015年3月期の年売上高は前期比1.3%減の約675億7800万円。同社のトップは、2000年度に調査を開始して以来15年連続となる。以下、(株)角藤(長野市)、(株)守谷商会(長野市)、綿半鋼機(株)(飯田市)、(株)TOSYS(長野市)、(株)ヤマウラ(駒ヶ根市)までは前年と同順位だった。

吉川建設(株)(飯田市)が1ランクアップして7位に、(株)岡谷組(岡谷市)は2ランクアップし、トップ10入りした。上位10社中9社、上位30社中28社は前回と同じ顔ぶれである。年売上高が100億円以上となったのは、前回から1社増加して13社。

3. 伸び率トップは175.7%増のルートイン開発

上位30社のうち、増収となったのは17社（構成比56.7%）、減収は13社（同43.3%）だった。増収企業数は2011年度から3年連続して増加し、前回は29社と調査開始以来最大を更新。しかし、今回は4年連続で減収企業を上回ったものの、増収企業は41.4%減と大幅に減少。総額の伸び率の縮小とともに、建設市場の拡大が鈍化したことを示している。

増収企業17社のうち、「10%以上増」が9社、「10%未満増」が8社。前回は「10%以上増」が16社、「20%以上増」も7社と伸び率の大きな企業が多かったが、今回は「20%以上増」が3社にとどまった。伸び率が最も大きかったのはルートイン開発（株）（上田市）。親会社のルートインジャパン（株）（東京都）が展開するホテル「ルートイン」の建設などを手がける同社は、親会社の業容拡大に伴い175.7%増と売り上げを大きく伸ばした。以下、31.3%増の綿半テクノス（株）（飯田市）、25.4%増の北信商建（株）（上水内郡飯綱町）などと続いている。

表2) 増収・減収企業数の推移
(2000年度～2014年度)

	増収		減収	
	社数	構成比	社数	構成比
2000年度	13	43.3%	16	53.3%
2001年度	10	33.3%	20	66.7%
2002年度	8	26.7%	22	73.3%
2003年度	5	16.7%	24	80.0%
2004年度	16	53.3%	14	46.7%
2005年度	17	56.7%	13	43.3%
2006年度	24	80.0%	6	20.0%
2007年度	18	60.0%	12	40.0%
2008年度	10	33.3%	20	66.7%
2009年度	10	33.3%	20	66.7%
2010年度	10	33.3%	20	66.7%
2011年度	17	56.7%	13	43.3%
2012年度	21	70.0%	9	30.0%
2013年度	29	96.7%	1	3.3%
2014年度	17	56.7%	13	43.3%

4. 「土木建築工事」「建築工事」で増収・減収が拮抗

上位30社を地区別にすると、「北信」13社、「中信」「南信」各7社、「東信」3社の順。前年度からは「北信」が1社増、「南信」が1社減。金額は、「北信」が56.8%を占め、前年度との比較では「北信」「東信」が増加し、「中信」「南信」が減少している。

業種別（細分類）では、「土木建築工事」が13社に及び、「建築工事」が7社で続く。「土木建築工事」は、前年度から1社減ながら金額は微増（0.01%増）。「建築工事」は社数が1社増、金額は13.7%増加している。他方、「土木建築工事」13社のうち増収が6社、減収が7社。「建築工事」7社も増収が4社、減収が3社と拮抗しており、各社明暗を分ける結果となった。

表3) 地区別内訳(2014年度)

	社数	構成比	金額 (百万円)	構成比
北信	13	43.3%	235,127	56.8%
東信	3	10.0%	23,167	5.6%
中信	7	23.3%	58,409	14.1%
南信	7	23.3%	96,983	23.4%
合計	30	100.0%	413,686	100.0%

表4) 業種別内訳(細分類、2014年度)

	社数	構成比	金額 (百万円)	構成比
土木建築工事	13	43.3%	205,157	49.6%
建築工事	7	23.3%	99,473	24.0%
管工事	2	6.7%	17,034	4.1%
鉄骨工事	2	6.7%	12,821	3.1%
その他	6	20.0%	79,201	19.1%
合計	30	100.0%	413,686	100.0%

2014年度県内建設業売上高ランキング（上位30社・速報）

順位	前年度 順位	社名	所在地	決算 (月)	売上高 (百万円)	伸び率
1	1	北野建設(株)	長野市	3	67,578	▲ 1.3%
2	2	(株)角藤	長野市	1	47,203	17.4%
3	3	(株)守谷商会	長野市	3	29,031	▲ 4.9%
4	4	綿半鋼機(株)	飯田市	3	27,184	▲ 4.6%
5	5	(株)TOSYS	長野市	3	22,064	▲ 9.4%
6	6	(株)ヤマウラ	駒ヶ根市	9	17,685	6.5%
7	8	吉川建設(株)	飯田市	5	16,822	10.4%
8	7	セキスイハイム信越(株)	松本市	3	15,600	▲ 5.9%
9	11	(株)岡谷組	岡谷市	5	12,091	17.6%
10	9	ミサワホーム甲信(株)	松本市	3	10,776	▲ 4.9%
11	10	神稲建設(株)	飯田市	6	10,465	▲ 6.1%
12	12	北信土建(株)	長野市	6	10,257	0.1%
13	14	松田・南信(株)	長野市	9	10,071	10.3%
14	-	ルートイン開発(株)	上田市	3	9,800	175.7%
15	13	ワールド開発工業(株)	長野市	6	9,576	2.5%
16	15	甲信アルプスホーム(株)	松本市	3	8,396	▲ 1.0%
17	16	富国物産(株)	長野市	2	7,790	▲ 3.4%
18	24	綿半テクノス(株)	飯田市	3	7,279	31.3%
19	17	(株)新津組	小海町	3	7,058	▲ 0.1%
20	18	(株)岩野商会	長野市	7	7,011	1.5%
21	20	(株)マツハシ冷熱	長野市	3	6,963	5.8%
22	21	松本土建(株)	松本市	5	6,362	▲ 2.8%
23	23	(株)パナホーム東海	長野市	3	6,349	4.0%
24	22	ハシバテクノス(株)	松本市	3	6,328	1.6%
25	19	(株)竹花組	佐久市	6	6,309	▲ 8.2%
26	-	北信商建(株)	飯綱町	3	5,692	25.4%
27	30	北陽建設(株)	大町市	5	5,576	15.8%
28	27	(株)青木鐵工所	長野市	4	5,542	7.6%
29	29	(株)フォレストコーポレーション	伊那市	12	5,457	13.2%
30	26	(株)アスピア	松本市	5	5,371	▲ 0.8%

※このランキングは、5月26日現在で判明したデータに基づいて作成した。

※ランキング掲載企業のうち、株主総会が終了していないものは決算案である。

※前年度30位圏外は順位を記載していない。

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。

当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。報道目的以外の利用につきましては、著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。

【内容に関する問い合わせ先】

株式会社帝国データバンク 松本支店 担当：奥原

TEL 0263-33-2180 FAX 0263-35-7763